

# 市議会だより

東松島市  
第70号

令和5年11月1日発行



友好姉妹都市である更別村の子どもたちとの“海と大地”子ども交流事業 2023の様子

- 令和4年度一般会計外5会計の決算について全てを認定 …… P2～5
- 一般質問～14議員が市政を  
ただす～ …… P6～13
- 基地対策特別委員会  
行政視察報告 …… P14



脱炭素先行地域

東松島市は、環境省「第1回脱炭素先行地域」に選定されました。



東松島市は、政府から「SDGs未来都市」に選定されています。



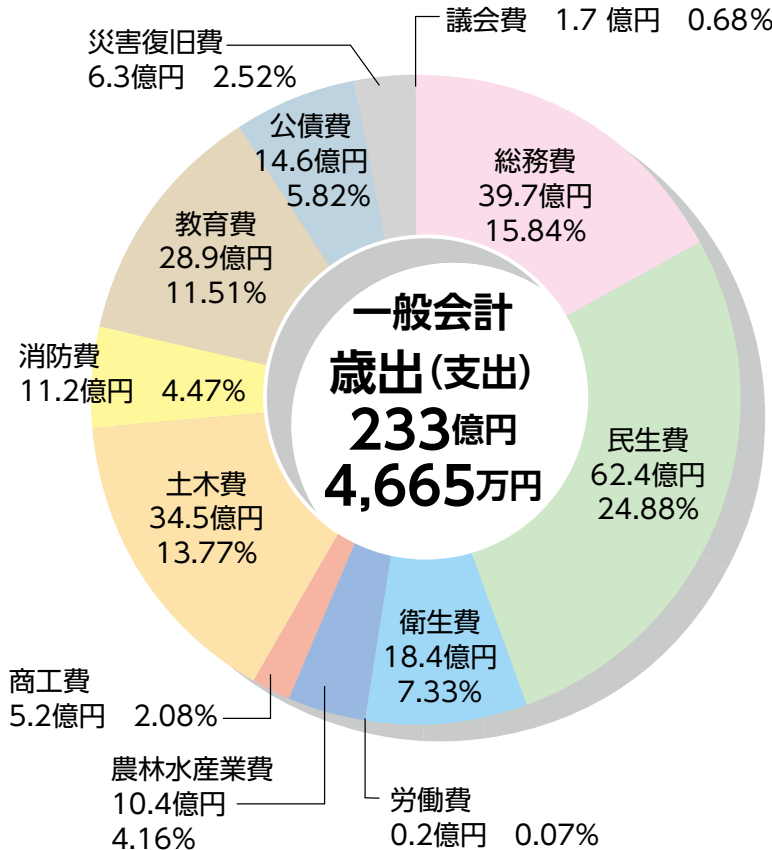
議会映像は  
ここから  
チェック!



発行/宮城県東松島市議会  
編集/広報常任委員会

9月に開催される議会は、前年度の決算を審査し、認定を行う「決算議会」と言われます。

# 東松島市のお金は どう使われた!?



※金額は百万円以下を、%は小数点第3位以下を四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

## 令和5年 第3回定例会

令和5年第3回定例会は、9月6日から9月29日までの24日間の会期で行いました。

令和4年度決算の認定や補正予算の審議等が行われ、すべて原案のとおり可決しました。

### ●議案等の上案件数 21件

<内訳>

決算	6件	2P～5P
補正予算	6件	5P
人事	2件	
条例	5件	
請願	1件	
その他	1件	

議会に上程された全ての議案の議決結果については、市議会HPに掲載しております。



## 委員会付託審査

### 民生教育常任委員会付託審査

議案第57号

東松島市矢本駅前西地区複合施設条例について可決  
(議案の主な内容)

令和6年4月からの矢本駅前西地区複合施設の中の「健康増進センター」に係る利用料金を改定するものです。

料金改定の主な理由は、燃油高騰等の影響による光熱水費の大幅な増加と過去2度の消費税率の改定の際の料金据え置きによるものです。

### 産業建設常任委員会付託審査

請願第1号

東松島市営住宅条例に関する請願書について採択  
(請願の主な内容)

市営住宅等における迷惑行為等の対応について、条例の中で補足事項が明記されていないため、迷惑行為等対応の要綱制定の請願があったものです。

## 賛否が分かれた認定

- 認定第1号 令和4年度東松島市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第2号 令和4年度東松島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第3号 令和4年度東松島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第4号 令和4年度東松島市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第5号 令和4年度東松島市柳の目地区産業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第6号 令和4年度東松島市下水道事業会計決算の認定について

賛成(O): 11人 反対(X): 5人 欠席(欠): 1人

千葉	齋藤	井出	手代木	浅野	土井	石森	櫻井	五野	阿部	長谷川	小野	阿部	大橋	滝	熊谷	阿部
修一	徹	方明	せつ子	直美	光正	晃寿	政文	敏夫	としる	博	幸男	秀太	博之	健一	昌崇	勝徳
○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×

※小野恵章議長は採決に入りません。

# 令和4年度一般会計外5会計の決算について全てを認定

令和4年度一般会計決算では、歳出決算額が前年度比17億1,862万2,515円減の233億4,665万1,022円となりました。

令和4年度一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算書等について、監査委員から審査意見書の提出があり、いずれも正確で財務事務に関する執行、予算の執行状況についてもおおむね適正であると認められました。また、令和4年度下水道事業会計も適正と認められました。

## 財務常任委員会 委員長報告



▲委員長報告を行う  
大橋財務委員長

令和4年度の一般会計外5会計の決算審査を財務常任委員会に付託され、9月19日から9月29日までの日程で、総務分科会、民生教育分科会、産業建設分科会の3分科会で、所管に属する事業内容と歳入歳出決算を慎重審査し、9月26日には6か所の現地調査も実施した。結果、総務で2事業、民生教育で1事業、産業建設で1事業の3分科会合計4事業の留意すべき案件が指摘され、今後これらの事業の推移を検証することとした。付託議案である令和4年度一般会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、介護保険特別会計歳入歳出決算、柳の目地区産業用地造成事業特別会計歳入歳出決算及び下水道事業会計決算は、全て認定すると可決した。

## 市の財政状況は？

### 財政力は？

財政力指数 **0.46**

数値が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が高い。  
令和3年度は0.46。

### 余力は？

経常収支比率 **92.1%**

数値が高いほど財政状況が悪い。  
令和3年度は92.6%。

### 借入金の負担度は？

実質公債費比率 **9.5%**  
(3カ年平均)

25.0%以上は財政健全化計画を作成しなければなりません。  
令和3年度は9.5%

## 分科会審査の内容の一部をご紹介します。

### 結婚新生活支援事業

**概要** 若い世代の婚姻に伴う経済的負担を軽減することにより、地域における少子化対策に資することを目指す。

**問** 住宅取得、住宅賃貸、引越費用の各補助金額は。

**答** 結婚新生活支援事業の補助金額については、住居取得（リフォーム含む）、住宅賃貸（家賃、敷金、礼金、共益費、仲介手数料）、引越費用を合算した実費負担額であり、1世帯あたり30万円（夫婦ともに29歳以下の場合には60万円）が上限となっている。

### 学校情報化推進事業

**概要** 教育用ICT環境の維持・整備を行い、児童・生徒が快適に学べる学校環境の推進を図る。

**問** デジタル教科書の利用状況と効果は。

**答** 紙の教科書との併用となるが、各学校授業において毎日のように利用している。音声や動画の再生もできることから、英語の発音や体育において体の動かし方、理科の実験の手順の確認などができ、理解を深める一助となっている。

### 商工業担い手育成支援事業

**概要** 新たに起業、創業、事業承継等を行う個人または法人等に対して、段階に応じた必要な支援を行い、意欲的な人材の活躍を促進することで、地域商工業の振興を図り、市内に新たな雇用の場の創出を推進する。

**問** 創業者が21人とあるが、補助金交付件数と違う理由は。また、創業後の支援体制はどのように対応しているのか。

**答** 創業者21人のうち、補助金交付件数は10人である。残りの11人については、10人が補助金を活用しないで創業をした方、1人が創業支援補助金の不交付となったが創業した方となっている。

また、創業後の支援体制としては、本市の創業支援アドバイザー（中小企業診断士、税理士等の専門家）と連携し、「ひがしまつしま創業カフェ」を開催している。

この創業カフェでは、専門家からの直接的な経営、経理等に関するアドバイスに加え、創業者同士の横のつながりを広げ、お互いの事業活性化につながるよう交流活動も行っている。

# 総括質疑

決算の内容について、各会派において質疑を行いました。その内容の一部を紹介します。

自公・市民の会

石森晃寿

松桜会

櫻井政文

**問** 企業誘致は、市長の人脉、政治手腕に尽きると私は考えている。新たにグリーンタウンやもと工業団地に進出する企業は、どのような業種で、雇用予定人数、創業開始はいつごろか。

**答** 主に学校や福祉施設向けの給食食材製造を手掛けており、新工場では、地元野菜の冷凍加工を行うほか、製品の海外輸出を視野に入れているマルヒ食品株式会社である。新規の雇用を10人から15人程度採用予定、パートを含めた40人体制で、令和6年2月の操業開始を目指している。

**問** 過疎地域における、過疎振興策の内容は。

**答** 過疎対策事業債を財源とする令和4年度の主な過疎振興策について、ハード事業では、「小野市民センター大規模修繕工事」を2億127万円で実施しているほか、奥松島運動公園において、「多目的運動場ナイター照明設備工事」、「野球場防球ネット設置工事等」を3千702万円で実施した。さらに、旧鳴瀬桜華小学校の活用及び移住・定住の促進と交流

人口の拡大を図るため、「小野地区移住・定住促進施設整備工事」を9千765万円で実施した。

**問** 「脱炭素先行地域」に全国26自治体の一つとして県内では、唯一選定されたが事業内容は、

**答** 太陽光発電による再生可能エネルギーの取り組みを実施する。



▲過疎債を活用し大規模修繕工事を実施した小野市民センター

**問** 全国的な人口減少の中で本市も様々な対策を実施してきたが、現在の人口数の評価については。

**答** 人口の減少率は近隣自治体と比較して少ない減少率となっている。これまで取り組んできた施策の効果ができていると感じている。

**問** 道の駅整備については、市場調査や誘客のノウハウ等いわゆるソフト部分も重要と考えるが、その準備については。

**答** 他の道の駅や所在自治体での視察を行い、市場調査や誘客のノウハウ、運営組織の在り方や、職員に求められるスキル等、道の駅運営に向けた準備を進めている。

**問** 昨年の9月にグリーン・DESTINEーションズが選ぶ「2022年世界の持続可能な観光地トップ100」に選定された。その対応として「観光客の受け入れ体制整備」を図ったとあるがその中身については。

**答** 県観光政策課に県パンフレットへの掲載や仙台空港国際線到着通路への広告掲示について協力要請を行った。また、先

進地の釜石市から講師を招き、持続可能な観光のマネジメントや観光コミュニケーション等を学んでいる。

**問** 総合的な防災マップを作成し、全世帯配布を行ったとあるが有効活用は図られたのか。

**答** 防災マップの配布と活用は、令和5年度に行っている。

**問** 「小学校英語検定チャレンジ事業」の取り組みの内容については。

**答** 質の高い学習と丁寧な指導を行った結果、技能検定試験では、受験した65人の児童のうち、53人が英検5級に合格した。学習意欲の高まりが増大する波及効果が図られた。



▲道の駅成功のためにソフト事業のさらなる推進を！

【問】 ほ場整備や漁港整備など生産基盤の整備の効果はどのよう

【答】 市税全体では前年度比約9千558万円の増となった。一番の伸びを見たのは固定資産税で土地分約1千19万円、建物分約3千797万円、償却資産分では、誘致企業19社で設備投資額が前年度比約4億4千万円増加した事などにより2千381万円増となっており、これまで取り組んできた企業誘致の成果が要因と捉えている。また、普通交付税では国税収入が国の当初見込み額を上回った事により追加交付され、前年度比2億9千117万5千円増となっている。

【問】 市場整備や漁港整備など生産基盤の整備の効果はどのよう

【答】 市場整備率は平成22年度に43%だったが、令和4年度見込みでは県平均と同じ72%に達した。用排水機能の向上や大区画化により効率性と生産性が高まり、農地集積集約を進める事で持続可能な地域営農の実現に寄与したと考える。国の補助事業に市独自の補助を嵩上げし8名の新規就農者に助成している。更に農業法人等連絡協議会と連携し研修会や交流会など多様な事業が主体的に行われている。漁港整備により漁港施設機能の保全を行い、水産物の生産及び流通機能の強化を図った。また、県の「みやぎ漁師カレッジ」と連携した漁業研修の受け入れ体制の確保により新たに2名が漁業に就業した。



▲ほ場整備によって可能となった高収益作物栽培

- 【A】 新築家屋の183棟分の固定資産税が含まれているほか、誘致した企業の新しい償却資産が入ったのが大きな要因となっている。
- 【Q】 道の駅整備事業の機械器具購入費 1,005万6千円
- 【Q】 道の駅整備事業の内容は、A 道の駅の観光案内施設の中に、持ち運び可能な遊具を設置する予定である。また、授乳室におむつの交換台や椅子、サイドテーブル、調乳用の温水器なども設置する。その他には、観光スポットをリアルに再現するVRのゴーグル等を購入する。
- 【Q】 伝統文化推進事業の修繕料の内容は、A 宮城県にある月観の松だ

9月 補正予算  
一般会計  
32億円を追加  
質疑の一部をご紹介します。

- 【A】 固定資産税が5,257万3,000円増額しているが、主な要因は何か。
- 【A】 大曲浜の漁具倉庫の前の場所に、未舗装箇所が約3,500平米ほどある。工事の時期については、今後、漁業協同組合及び漁業者と協議した上で、支障のない時期に進めていく予定。
- 【Q】 空き家バンク事業補助金 140万円
- 【A】 登録件数が少ないため、登録物件の増加を目指している。補助金額については、宮城県内でも最大補助率であり、この補助金を活用した移住・定住を促すことを目的としている。

令和5年 第3回臨時議会  
議案第55号  
(債) 令和5年度矢本運動公園体育館新築工事請負契約の締結について可決

令和5年6月29日、第3回臨時議会が行われ、議案第55号(債)令和5年度矢本運動公園体育館新築工事請負契約の締結について全会一致で可決しました。

(議案の主な内容)  
東松島市武道館が建築後47年経過し、老朽化及び経年劣化が進んでおり、新築が必要であることから、矢本運動公園体育館として新築工事を行うものです。



▲東松島市武道館解体前写真

# 一般質問

# 14議員が市政をたずねる

## 東松島市第2次総合計画後期基本計画まちづくりの方向性別目次

<b>1 産業と活力のある住みたくなるまち</b>		
道の駅の進捗状況等について	千葉 修一	P 8
我が市における観光施策について問う	井出 方明	P10
今後の観光戦略について問う	大橋 博之	P11
市内海水浴場の今後について	手代木せつ子	P12
観光振興対策について	手代木せつ子	P12
農業における高温対策について	阿部 秀太	P12
有害鳥獣対策について	阿部 秀太	P12
企業誘致の促進について	櫻井 政文	P13
<b>2 子育てしやすく誰もが健康で安心して暮らせるまち</b>		
障害児通所サービスの充実を	齋藤 徹	P 7
新型コロナワクチンの健康被害救済制度について	阿部 秀太	P12
<b>3 次世代を担う人材を育む学びと文化・スポーツのまち</b>		
奥松島運動場の設備拡充を	齋藤 徹	P 7
健康増進センター（ゆぶと）の施設整備は万全か	五野井敏夫	P 7
本市のスポーツ振興について	浅野 直美	P 9
学校給食費への支援拡充について	浅野 直美	P 9
学校管理下における危機管理体制について	浅野 直美	P 9
学力向上施策について問う	井出 方明	P10
「スポーツ健康都市」宣言後の取組について	手代木せつ子	P12
<b>4 災害に強く安全で快適で美しいまち</b>		
市所有施設の猛暑対策は万全か	五野井敏夫	P 7
消防団演習について問う	五野井敏夫	P 7
道路整備について	千葉 修一	P 8
危機管理体制について問う	土井 光正	P 9
過疎債を活用し、市道等の改良・改修を急げ	石森 晃寿	P10
豪雨災害対策として排水機能等の強化を	阿部 勝徳	P11
<b>5 持続可能な行財政運営が図られ市民から信頼されるまち</b>		
異常気象に対応した住民サービスを	齋藤 徹	P 7
ふるさと納税について	千葉 修一	P 8
市政運営の諸課題を問う	小野 幸男	P 8
今夏の猛暑から来年に向けての対策を問う	土井 光正	P 9
行政デジタル化の利点を生かし書かない窓口の導入を	土井 光正	P 9
我が市におけるDX推進施策について問う	井出 方明	P10
デマンドタクシー日曜・祝日の運行を問う	石森 晃寿	P10
より高度な住民自治に向けて	阿部 秀太	P12
国保・子どもの均等割を独自「減免」すべき	長谷川 博	P13
自衛隊員募集のための「適格者名簿」提供について	長谷川 博	P13

問

障害児通所サービスの充実を

答 10月1日を目標に要綱を改正する



齋藤 徹 議員

1件目

問 障害児通所サービスにおける本市の標準支給日数は15日以内。周辺自治体との支給日数の違いをどのように考えているか。

答 本市の標準支給日数は15日以内であるが、一定の加算が必要と認められる場合は23日以内としており、周辺自治体と同水準でサービスを実施していると考えている。

問 標準支給日数を周辺自治体と同じく、最大23日としては。

答 運用上、問題が無いが、文言の捉え方で誤解を与える可能性があるため、10月1日を目標に要綱を改正する。

綱を改正する。

2件目

問 奥松島運動公園内の多目的運動場に本部席更衣室を設置すべきでは。

答 補正予算において、過疎対策事業債を財源に木造平屋建て100㎡程度の管理棟、更衣室の新築工事の設計費を計上しており、令和6年度中の完成を目指していく。

問 現在、多目的運動場の夜間施設がなされていないが、今後の不正利用等に対するセキュリティの面をどうするのか。

答 指定管理者と協議の上、万全のセキュリティ対策を実施していく。

3件目

問 猛暑、厳冬対策に市民センター等の開放を。

答 共有スペースは現在も使用可能。混雑時の空き室利用については指定管理者側に配慮をお願いしている。



問

市所有施設の猛暑対策は万全か

答 可能な限り対処している



五野井敏夫 議員

1件目

問 市所有の集会所、体育館、武道館等へ冷房設備の設置状況はいかに。また、設置基準等はあるのか。

答 41か所の木造地区センターについては、令和2年度まで整備済みであり、学習等共用施設16か所のうち、すでに6か所は設置済み、残り10か所のうち、5か所は令和8年度までに計画されている大規模改修工事で設置する。体育館、武道館のエアコン設置の基準等はなく、宮野森小学校の体育館のみが設置済みで今後、国、県内の動向を見ながら検討していく。

2件目

問 ゆぶとの施設整備は万全か。

答 当施設は平成17年4月から管理運用を行っている。施設メンテナンスは、毎年10月に1週間休館にして総点検している。結果、優先順位を付け対応しているが、経年劣化で一部稼働出来ない設備

- 1 市所有施設の猛暑対策は万全か
- 2 健康増進センター（ゆぶと）の施設整備は万全か
- 3 消防団演習について問う



▲冷房設備設置が待たれる学習等共用施設

もある。給排水設備、空調設備などの重要な部分については、事前対処も含めた改修工事計画を策定しており、工事時の部分休館はあるものの利用者への影響を最小限に抑えていく方針としており、速やかに設計業務に着手し、可能な限り早期に工事に着手していく。



# 問 道の駅の進捗状況等について

## 答 令和6年秋頃に開業見込み



1 件目

**問** 道の駅の進捗状況等について。

**答** 令和6年夏の開業に向け現在、防災調整池整備及び道の駅本体の建築場所の整地工事を優先的

に実施している。建築工事期間については、約1年間を予定しており、完成は令和6年秋頃にずれ込む見込み。

2 件目

**問** ふるさと納税について。

**答** 納税返礼品の海産物・農産物に加工品を含めると、現在40品目を取り揃えており、本年度は8月末現在で既に約2億7千6百万円の寄附があ

り、これまで伸び悩んでいた状況から回復傾向となっており、今後予算の追加を計画しているもの。今後も自治体間の競争が激しくなることが予想されるが、魅力ある商品開発とともに、本市の様々な取り組みなども発信し寄附額の増額に努めていく。

3 件目

**問** 道路整備について。

**答** 市道小松・赤井線は橋の架け替え等、膨大な事業費がかかることから、市単独での施工は困難と考えている。市道川前線の赤井駐在所跡地の前については、歩道の未整備区間は今年度において測量設計を実施して早期完成に向け事業を進める。市道芳原東西18号線は、未舗装の区間約300メートルあることから今後、舗装工事について前向きに検討していく。

- 1 道の駅の進捗状況等について
- 2 ふるさと納税について
- 3 道路整備について



▲現在の歩道の未整備区間



# 問 市政運営の諸課題を問う

## 答 野蒜海岸はビーチスポーツに特化



1 件目

**問** 野蒜海水浴場の来年度以降の開設はいかに。

**答** 来年度以降は開設せずビーチスポーツに特化し活用する。

2 件目

**問** ジェットスキーに関する条例制定の考えは。

**答** 条例制定自治体を参考に今後研究する。

3 件目

**問** タイケン学園の入学者数と施設利用者数について。

**答** 入学者38人、施設利用者55人である。想定利用者には届いていないが、ご理解いただきたい。

4 件目

**問** 猛暑による消防団の夏季演習の見直しは。

**答** 消防演習の実施時期については、消防団幹部会議で協議決定する。



▲来年度以降の新たな取り組みが期待される野蒜海岸



**問** ALPS処理水の風評被害の今後の対応は。

**答** 被害の実態に見合う賠償を、宮城県と連携し国に対し働きかける。

**問** 風評被害による学校給食食材の導入に関する対応について。

**答** 風評に基づく要望、要求があった場合は、化学的知見とともに安全性について丁寧の説明し、ご理解いただくよう努める。

**問** 学力向上の取り組みの成果について。

**答** 協同的な学びを取り入れ、学び合いを大切に個に応じた指導で改善につながっている。

**問** タブレットドリルとでめこんの取り組みは。

**答** 児童生徒と学級の自主的な活動を支援する。

**問** 不登校対策について。

**答** 保護者が集い、相談、情報交換が出来るカフェ系の場所を設置する。



# 問 スポーツ振興で健康と地域活性化を

## 答 市民の健康増進と地域活性化に尽力



浅野 直美 議員

1件目

**問** 鷹来の森運動公園スケートボードパークの完成予定時期は。

**答** 初心者から中級者まで幅広く利用可能な安全性と利便性の高い施設として、年内完成を目指し

進めている。

**問** 風光明媚な野蒜海岸の特色を活かし、ビーチスポーツの大会誘致を。

**答** 今年本市で初めてビーチテニス国内ツアー大会が開催され賑わいを創出した。また、令和7年滋賀国体ビーチバレー東北予選会場の第一候補地に本市が選出されている。今後も地域経済の活性化に寄与するよう各種

大会の誘致に努めて行く。

**問** 学校給食費の支援を拡充し保護者負担軽減を。

**答** 今年度は小学生60円中学生70円の保護者の経済的負担軽減を図っている。来年度も食料費の高騰が続いても給食の質を落とすことなく、価格高騰分は市費で対応し、給食費は半額程度を目安として負担軽減の拡充を検討し、段階的に将来の無償化に繋げていく。全ての市町村が無償化を実施できるように平等な教育環境の確保を、引き続き国に要望していく。



# 問 猛暑のニューノーマルに対策を

## 答 エアコンの早期整備を検討



土井 光正 議員

1件目

**問** 熱中症対策として、低所得世帯でエアコンの無い世帯に設置・整備の助成を検討すべき。

**答** 社会福祉協議会の生活福祉貸付制度の利用促進を周知する。

**問** 関の内、横沼、牛網、南浦地区の各学習等共用施設は、大規模改修を待たずにエアコンを早期に設置すべき。

**答** 大曲小学校から学習等共用施設へのエアコンの転用等を含め、令和6年度、令和7年度予算の中で検討する。

**問** 猛暑で夏休み期間、午前、午後でわずか6回しか開設できなかった小学校プール施設の検討は。

- 1 今夏の猛暑から来年に向けての対策を問う
- 2 行政デジタル化の利点を生かし書かない窓口の導入を
- 3 危機管理体制について問う

**書かない窓口 (窓口支援システムでできること)**  
本人の同意を得て、職員がシステムを操作しながら受付し申請書を作成

証明申請/住民異動届 → 申請履歴はシステムから印刷 → 必要な手続書の自動判定

QRコードは書かないワンストップ窓口説明動画(北海道北見市HPより引用)  
<https://www.city.kitami.lg.jp>

▲市役所の「書かない窓口」で行政サービスの向上を！



3件目

**問** 危険な侵入事件から児童生徒を守る対策と、熱中症対策について問う。

**答** 校内の危機管理体制を強化すると共に交番にパトロール強化を依頼している。安全安心に学べる環境づくりに努める。

**答** プール解放時間帯を検討するとともに「ゆぶと」の屋内プール施設の活用を検討していく。

2件目

**問** 市役所の「書かない窓口」実現のため、東松島市ワンストップ推進計画の策定は。また、「おこやみコーナー」の設置は。

**答** 「書かない窓口」は、DX推進計画の中で策定していく。また、「おこ

やみハンドブック」を今年度中に完成させる。

3件目

**問** AED(自動体外式除細動器)の公共施設内の設置場所の周知と使用方法は熟知されているか

**答** 各方面で定期的にAED講習を受け、熟知出来るよう努めている。早期の救命処置は救命率に大きく影響することから引き続きAEDの使用方法の習熟を図る。

- 1 本市のスポーツ振興について
- 2 学校給食費への支援拡充について
- 3 学校管理下における危機管理体制について



▲野蒜海岸の通年利用を



▲命を守る着衣泳

# 問 DX推進施策について問う

答 新設デジタル推進課を中心に問う



井出 方明 議員

- 1 我が市におけるDX推進施策について問う
- 2 我が市における観光施策について問う
- 3 学力向上施策について問う



▲震災後、久しぶりに行われた東名運河の灯籠流し

**1件目**  
**問** 県が進めているデジタル身分証アプリを活用したDX推進施策について問う。  
**答** デジタル身分証アプリの機能活用により避難所へ誘導時の混雑抑制及び避難所受付手続きの簡素化が図れる。また、U

**2件目**  
**問** コロナが5類となり観光交流人口が回復しつつある中で、さらなる発展のための施策について問う。  
**答** 野蒜海岸は今後ビーチスポーツに特化した形で活用していく。松島の

PZ圏内自治体住民に配布予定の地域ポイントも利用出来ることから市民に対する周知とマイナンバーカード保有数増加に努める。

**3件目**  
**問** 小中学生の学力がなかなか向上しない原因と今後の改善について問う。  
**答** 小学校では差が無くなってきたが、中学校はより長い時間を積み上げる学習であり、成果が現れるまで時間を要する。教員の能力向上については、県と連携し取り組んでいる。必要に応じ優秀な教員のリクルートに努める。



# 問 過疎債を活用し、市道の整備を急げ

答 過疎債を活用し、年次計画で整備



石森 晃寿 議員

**1件目**  
**問** 旧鳴瀬地域の市道の総延長、改良整備率、舗装整備率は、どのようになっているか。  
**答** 市道の総延長52.7 km、改良整備率74.6%、舗装整備率85.4%となっている。  
**問** 旧鳴瀬地域における市道は、人口の少ない地区に幅員が狭隘で交互通行も円滑にいかない道路が見受けられる。改良整備する考えはないか。  
**答** 現在実施している中下地域の3路線の他に、上福田・肘曲線、鱗・御浦線、「田町・鯉前線」、「猪鼻・西風線、佐野下・寺前線」、「原田・荻窪線」の改良整備は、12月の補

- 1 過疎債を活用し、市道等の改良・改修を急げ
- 2 デマンドタクシー日曜・祝日の運行を問う



▲改良整備が期待される上福田・肘曲線、鱗・御浦線

正予算で測量調査費を計上したい。工事については、過疎債を活用することで年次計画で改良整備したい。なお、「浅井・上下堤線」は、3か所程度の待避所整備を計画している。

**2件目**  
**問** 旧鳴瀬地区の車を持たない高齢者等のために過疎債を活用し、日曜祝日の運行は。  
**答** アンケート調査を実施し、検討する。

**問** 東日本大震災の影響で、道路側溝が不同沈下し、機能を果たしていない箇所もあるので改修する考えはないか。

**答** アンケート調査を実施し、検討する。

問 今後の観光戦略について問う

答 道の駅を中心とした戦略を進める



大橋 博之 議員

としての位置づけは。

答 本市全体の観光物産の情報発信の拠点と考える。奥松島エリア、松島基地周辺エリア、スポーツ施設等の情報をPRし道の駅そのものも魅力ある観光資源にしていく。

問 奥松島公社と観光物産協会が合併して誕生した東松島観光物産公社の役割について。

答 より一層の観光と物産の振興を図るとともに、

問 ビッグプロジェクトである道の駅の観光資源

コロナ禍により停滞していた観光分野の復活が期待されるが、今後の本市の観光戦略の再構築が必要と考えるが市長の見を伺う。

1 今後の観光戦略について問う



▲豊かな観光資源を大切に活用しよう！

事業の効率化を目的に設立された。観光PR活動を積極的に展開し、地域経済の活性化を図る役割を担っている。

問 公社の社長に就任している副市長をサポートする有能な支配人のリクルートは大丈夫か。

答 組織を総括する本部長が創設され、公社総務課長が、本部長に就任した。

問 市内の数多くある観光資源を総合的にプロデュースする役割は誰が担うのか。

答 第2次総合計画後期基本計画において最重要政策の一つとして観光振興を進めていることから市長が担っていく。

問 旧観光物産協会に加入していた事業者の現況は。

答 公社のサポート事業者として、公社の事業と連携して取り組んでいる。



問 豪雨対策として排水機能の強化を

答 国及び県に要望していく



阿部 勝徳 議員

問 異常気象による豪雨災害が多発しており、中江川上流部においても令和元年の台風19号による大雨や令和4年7月の豪雨などにより大きな被害を受けている。川の拡幅等排水機能の強化を図るべきと思うがその計画と対策は。

答 県において中江川が合流する定川の浚渫を行っている。また、下流部（定川合流部分から上）の堤防の嵩上げを予定している。上流部については降雨量等の基準を満たしており計画は無いが要望していきたい。

問 台風19号による大量の土砂の流入があり中江川沈砂池の浚渫が令和6

1 豪雨災害対策として排水機能等の強化を



▲令和4年7月16日上流部越水の状況

年度まで計画的に実施されるがその後の計画は。

答 これまでも河南矢本土地改良区と受益割合で負担しあい適宜浚渫をしていたが、今後も土砂等の堆積物の状況に応じ適切な維持管理に努める。

問 池の内・清水沢線の県道河南・鳴瀬線と中江川間区域の大雨時の排水対策は。

答 令和5年度に新規採択された上区排水機場の

排水流域に位置しておりその整備計画に併せ検討していく。当面、大雨時には移動式ポンプで排水する。

問 河川の急激な増水は林地開発などによる保水機能の低下も考えられるが状況は。

答 まだ開発途中であり緑化、植栽には至っていないが終了時には実施されるものと認識している。

- 1 市内海水浴場の今後について
- 2 「スポーツ健康都市」宣言後の取組について
- 3 観光振興対策について



▲野蒜駅舎内、改札口周辺の様子

**1件目**  
**問** 市内海水浴場について、今後どのように活用し、維持していくのか。

**答** 来年度からは、離岸流が心配される野蒜海水浴場については開設せず、波が穏やかで来訪者の受



手代木せつ子 議員

# 問 「スポーツ健康都市」宣言後の取組は

## 答 小学生オリリンピック競技会を開催する

け入れ環境が整っている地元自治会が管理する、月浜海水浴場のみ開設を行っていたきたいと考えている。なお、風光明媚な野蒜海岸については、ビーチバレー等のビーチスポーツに特化した形で活用していきたい。

**2件目**  
**問** 「スポーツ健康都市宣言」後の成果と今後の取組について伺う。

**答** 令和4年度の社会体

育施設利用者数は248、445人で市民のスポーツ人口だけでなく着実に交流人口の拡大が図られたと捉えており、市内の宿泊施設や飲食店利用を主催者に呼びかけ、地域経済の活性化にもつなげている。

また、今後であるが、10月28日に市内小学校4、6年生を対象に「第1回東松島市小学生オリリンピック競技会」を開催予定である。学年別、男女別で行い、個人種目は50m走、800m走、ボール投げ等、団体種目はリレー競技を実施する。

**3件目**  
**問** 西の玄関口である野蒜駅舎内における観光PRの充実を求めるがいかがか。

**答** JRと協議を進め、野蒜駅舎内を活用したさらなる観光PRの充実に努める。



# 問 猛暑の農業への影響は

## 答 状況を見て速やかな対応をとる



阿部 秀太 議員

**1件目**  
**問** 猛暑の農業への影響について、今後の対応は。

**答** 今夏の猛暑で、野菜の生育不良や、農作業中の体調不良などが発生している。また、秋野菜の作付けの遅れや米の収量品質への影響も懸念される。今後、関係機関と連携し技術情報を提供するとともに、状況を見て県や国に対策を求める。

**3件目**  
**問** より高度な住民自治に向け、住民自らが作った「地区別戦略」が必要では。（会派視察を参考に）

**答** 本市には、地域自治組織ごと、課題や将来像を地区住民が話し合い、

- 1 農業における高温対策について
- 2 有害鳥獣対策について
- 3 より高度な住民自治に向けて
- 4 新型コロナワクチンの健康被害救済制度について



▲特産のネギをはじめ障害が見られた

組織の目的や活動指針を内容とした「地域まちづくり計画」がある。

**問** 戦略を実現するための自由度の高い支援メニューと中間支援組織が必要と考えるが。

**答** 本市の「地域まちづくり交付金」がそれにあたる。また、4つの地域に集落支援員を1名ずつ、担当課には市民活動支援員を配置しており、中間

支援組織の設立は考えていない。

**4件目**  
**問** 新型コロナワクチンの健康被害救済制度の申請窓口が市町村であることを周知すべきでは。

**答** 接種券にパンフレットを同封するなどの対応をしている。ホームページにも掲載したところであり、問い合わせには丁寧に対応する。

組織の目的や活動指針を内容とした「地域まちづくり計画」がある。



1 企業誘致の促進について



▲企業誘致促進で地域経済活性化の実現を！

**問** 企業誘致は人口の移入や地域経済の活性化や新たな雇用機会の創出また税収のアップ等地域社会に大きなメリットをもたらす。そこで以下の所見を伺う。さらなる企業誘致に向けての体制づ



櫻井 政文 議員

問 企業誘致の促進について

答 県と連携しながら、取り組む

くりと県との連携は。

**答** 商工観光課内に商工振興・企業誘致係を組織し、県へ派遣した職員2人を担当係長及び担当職員に配置するとともに、復興庁からの派遣職員も含めた4人で業務を行っている。

**問** 本市の魅力のアピールする情報発信と営業活動の強化については。

**答** 市や県のホームページ

**問** どのような業種・種類の企業に進出してほしいのか。

**答** 主なターゲットを製造業として誘致活動を進めている。また、既存産業用地の特性に適した業種の誘致を促進する。

**問** 企業が進出しやすいインフラ・環境整備と産業用地の確保については。

**答** 内陸部における新たな産業用地の整備に向け、産業用地の適地調査を実施している。また、産業用地整備基本計画を策定中であり、早期に新たな産業用地の確保に努めていく。

**問** 宮城県企業立地セミナーにおいて市長自らが参加し、企業との情報交換や新たな誘致企業の発掘に努めている。また、営業活動としては、市長のトップセールスを積極的にに行っている。

**答** 宮城県企業立地セミナーにおいて市長自らが参加し、企業との情報交換や新たな誘致企業の発掘に努めている。また、営業活動としては、市長のトップセールスを積極的にに行っている。



問 隊員募集の名簿提供すべきでない

答 名簿提供説明も除外申請もしない



長谷川 博 議員

1件目

**問** 子ども均等割だが、本市は国保に占める子どもの割合が多く、均等割額も2番目に高く負担が大きい。既に、県内7自治体で減免を実施。本市も18歳まで拡大して子育て世帯を応援すべき。

**答** 提言は困難。国は減免は適切でないとする。国保加入者が減少し医療費は増加、基金を崩す厳しい運営だ。県市長会等で拡大を要望する。

**問** 自衛隊員募集の適齢者名簿提供は、個人情報保護の観点から住民周知と本人同意が必要だ。苦情が無いのは、市民が提供の事実を知らされてないからだ。あくまでも閲覧に止めるべきで、従来通り提供するのなら除外申請制度を設けるべきだ。

**答** 国は名簿提供は問題ないとの見解。基地との共存共栄が私のマニフェスト。補助金や交付金に特段の配慮頂いている。働く場の確保に繋がるので、これまで通りとする。

**問** 抜き出して紙で提供するのには閲覧ではない。

**答** 国を守ることは大切で、何らかの組織で国を守る事は必要。

- 1 国保・子どもの均等割を独自「減免」すべき
- 2 自衛隊員募集のための「適格者名簿」提供について



引用元：自衛隊宮城地方協力本部 発送資料

▲自衛隊から送られてくる募集案内。エッ、どうして自分に？

# 基地対策特別委員会視察報告

## 基地対策特別委員会

委員長 阿部 勝徳  
副委員長 齋藤 徹  
委員 千葉 修一  
委員 手代木 せつ子  
委員 浅野 直美  
委員 石森 晃寿  
委員 阿部 としゑ  
委員 阿部 秀太  
委員 滝 健一  
委員 熊谷 昌崇



令和5年7月27日に静岡県浜松市役所で「浜松市基地対策協議会について」、翌28日に「航空自衛隊浜松広報館（エアーパーク）」を視察してきました。

### 「静岡県浜松市について」

浜松市は、恵まれた交通網により産業の街・浜松として発展し、人口約80万人の県下最大都市です。平成23年には市制100周年を迎えました。バイクのふるさと浜松として国内4大メーカーのうち3社（ホンダ、スズキ、ヤマハ）のルーツが浜松市にあります。面積は1,558.06㎡で、全国2

位。令和6年1月に区の再編を行い、7区から3区に再編され、航空自衛隊浜松基地（第1航空団）は中央区に位置されます。

### 「浜松市基地対策協議会について」

昭和47年5月22日から浜松市基地対策協議会が立ち上がっていますが、それ以前にも長年協議会等が設置されてきた経緯が伺えました。浜松市基地対策協議会は、会長が市長で、副会長が議会議長と副市長、それ以外の委員としては、議員全員と企画調整部長と市民部長となっており、市と議会議員によって構成されています。年1回の代表者会議が開催されており、防衛省関係者（南関東防衛局、航空自衛隊浜松基地）と市の関係課長等と呼んで、前年度の防衛補助事業の実績と今年度事業について説明を行っています。また、浜松基地における部隊追加や飛行訓練の変更などについても説明を受け、質疑応答できる場が設けられています。また、この協議会以外にも、浜松市では「浜松基地周辺対策協議会」という自治会を中心とした協議会組織もあり、周辺協議会に対しても

防衛省の関係者や市の関係者を集めて同じような事業説明と質疑応答の場を設けています。

### 「航空自衛隊浜松広報館（エアーパーク）」



航空自衛隊浜松広報館（エアーパーク）は平成11年4月に開館され24年が経過しています。施設内の展示格納庫には退役機が多数展示されており、一部コックピットにも乗ることができ、ライトシミュレーターやVR体験コーナーなども用意されており、航空ファンや子どもたちが楽しめる施設となりました。

# 議会活動



## 東松島市商工会との懇談会

令和5年7月25日に東松島市商工会との懇談会が開催されました。

東松島市商工会より本市の経済構造と景気の動向について説明がありました。

本市議会からは本市の産業振興について議会報告をいたしました。

活発な意見交換がなされた懇談会となりました。



本市の産業振興について議会報告を行った大橋博之議員

## 農林水産業等の振興に関する要望会

令和5年8月22日に農林水産業及び観光分野に関する要望会において、宮城県に対して市と本議会により共同で要望書を提出しました。

ほ場整備事業の推進、排水機場及び排水路の早期整備、アサリ漁場の再生等の課題解決に向け現地調査を行い、具体的な対応を提案いただきました。



宮城県に対して要望書の提出



現場視察後、市政反映のため様々な意見交換がありました



長浜地区のアサリ漁場再生に向け要望しました


# 議会運営および活動状況 (令和5年6月定例会開会以降)

- 6月13日 基地対策特別委員会
- 14日 議会運営委員会、総務常任委員会、民生教育常任委員会、産業建設常任委員会、財務常任委員会
- 19日 広報常任委員会
- 27日 広報常任委員会
- 28日 議会運営委員会
- 29日 令和5年第3回臨時会、総務常任委員会、民生教育常任委員会、産業建設常任委員会
- 7月12日 静岡県伊豆市議会総務経済委員会視察来庁
- 7月18日 総務常任委員会、民生教育常任委員会、産業建設常任委員会
- 24日 基地対策特別委員会
- 27日~ 基地対策特別委員会行政視察
- 28日 民生教育常任委員会、基地対策特別委員会
- 8月13日 神奈川県綾瀬市議会基地対策特別委員会視察来庁
- 17日 総務常任委員会
- 10日 議会運営委員会、広報常任委員会
- 18日 産業建設常任委員会
- 31日 議会運営委員会
- 9月14日 議会運営委員会



次回の定例会は  
**12月7日(木)~**  
午前10時開会  
※日程は変更する場合があります。  
※新型コロナ等の状況により傍聴を制限する場合があります。  
詳しくは市議会HPをご覧ください。

会期日程はこちら！



東松島市議会  
**Facebook**  
情報発信中！




いいね！  
してフォローお願いします！



宮城県東松島市議会  
Facebook: @higashimatsushima-city

## ご意見・ご提案、お待ちしております

本市議会では、各市民センターに目安箱を設置しています。市に対する要望等については、市への情報提供や提案を行っています。


議会や議員に対する意見・要望については、全議員に周知しています。

引き続き、皆様からのご意見やご要望をお待ちしております。

※目安箱に投函の際は、記入年月日、お住まいの地区、氏名、年齢、また、意見等の対象がどこ宛のものなのか(議会、市、市民センターなど関係機関)、を必ずご記入いただきますようお願いいたします。

議会だよりをお読みいただいた感想やご意見を、ぜひお聞かせ下さい。

●アドレス  
h-gikai@city.higashimatsushima.miyagi.jp



- 広報常任委員会
- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 長谷川 直博 |
| 副委員長 | 浅野 直美  |
| 委員   | 齋藤 政文  |
| 委員   | 櫻井 文徳  |
| 委員   | 大橋 博   |
| 委員   | 阿部 勝徳  |

編集◆集◆後◆記

9月定例会は、前年度の予算が基本計画で定められた事業目標を基に成果を意識して執行されているか、市民の皆様が託された議員一人ひとりが責任を持って確認する決算議会であります。

また、各分科会では次年度の予算編成が適正に行われるよう調査する役割も担っています。

本紙は、予算決算も含め行政と議会がどのように関わり、より良い東松島市であるために市政展の議論を行っているのか、市民の皆さまへお伝えする情報発信の一つであると考えています。

引き続き、分かりやすく、親しみある紙面を手にしていただきますようお願いいたします。

広報委員会が努力してまいります。(浅野 直美)